

平成19年度

事業報告書及び決算報告書

財団法人 鈴鹿国際交流協会

## 目 次

### 事業報告書

1 事業の概要 ( P 1 ~ P 6 )	
( 1 ) 交流事業	P 1
( 2 ) 研修啓発事業	P 1
( 3 ) 情報収集提供事業	P 2
( 4 ) 国際交流活動推進事業	P 3
( 5 ) 共生推進事業	P 4
( 6 ) 他団体との共催及び参加事業	P 5 ~ 6

2 庶務関係 ( P 6 ~ P 7 )	
( 1 ) 理事会等	P 6
( 2 ) 組 織	P 7

### 決算報告書 ( P 8 ~ P 16 )

1 貸借対照表	P 8
2 正味財産増減計算書	P 9 ~ 10
3 財産目録	P 11
4 財務諸表に対する注記	P 12 ~ 13
5 収支計算書	P 14 ~ 15
6 収支計算書に対する注記	P 16 ~ 17

# 事業報告書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

## 1 事業の概要

### (1) 交流事業

ベルフォンテン市青少年交流事業(平成19年8月2日～8月8日・派遣生12名) 鈴鹿市在住の中学生(4名)及び高校生(8名)を、鈴鹿市の友好協定都市である米国オハイオ州ベルフォンテン市へ派遣した。

生徒達は、ホームステイ等を通してアメリカの生活や文化に直接触れ、大きな感動を受け将来への財産となった。また、ベルフォンテン市民の方々から、色々声をかけていただき伝統ある交流の深さを知ることができた。

派遣する中高生へ6月から7月末(7日間)にかけて、ベルフォンテンで披露するためのイベントの練習等を行った。

カンボジア友好の翼事業の中止(平成20年2月19日～23日 中止)

市民で構成する訪問団を、カンボジアへ派遣する予定で募集したところ、参加人数が10名を切ったために参加者と協議し、一人当たりの費用等が高くなるために中止を決定する。

平成20年度からは、協会が当該事業を計画するのではなく、市内でご活躍の団体(賛助会員及びボランティア会員)が、国際交流事業を行っていただけるよう活動支援事業制度の見直しを行った。

### (2) 研修啓発事業

#### 外国語会話講座開催事業

[前期](平成19年5月～10月・募集人員各20名「中国語のみ15名」)

・英会話初級講座	(昼の部)	20回	受講者数	15名
・英会話初級講座	(夜の部)	20回	"	20名
・英会話中級講座	(昼の部)	20回	"	15名
・英会話中級講座	(夜の部)	20回	"	20名
・中国語入門講座	(夜の部)	20回	"	11名
・ポルトガル語初級講座	(夜の部)	20回	"	20名

[後期](平成19年10月～平成20年3月・募集人員各20名「中国語のみ15名」)

・英会話初級講座	(昼の部)	20回	受講者数	16名
・英会話初級講座	(夜の部)	20回	"	20名
・英会話中級講座	(昼の部)	20回	"	17名
・英会話中級講座	(夜の部)	20回	"	19名
・中国語初級講座	(夜の部)	20回	"	15名
・ポルトガル語初級講座	(夜の部)	20回	"	18名

#### 結果

- ・前期 定員115名 応募者101名(87.8%)
- ・後期 定員115名 応募者105名(91.3%)

#### 国際セミナー等開催事業

##### 国際理解料理講座

- ・第1回「英語を学びながらケベック料理(カナダ)を作りませんか？」  
講師 ドミニック ドゥブロワ

開催日時 平成 19 年 9 月 30 日 (日)  
参加者 賛助会員 10 名  
一般参加者 36 名 計 46 名 (応募者 58 名、抽選で選考する。)  
参加費 (一名当たり) 賛助会員@1,000 円、一般@1,500 円  
結果 ケベックの一流レストランと同じレシピでの作り方と、ケベックの食文化など参加者から好評を得た。

・ 第 2 回「英語を学びながらクリスマスディナー編」

講師 ドミニック ドゥプロワ  
開催日時 平成 19 年 12 月 16 日 (日)  
参加者 賛助会員 9 名  
一般参加者 21 名 計 30 名 (応募者 48 名、抽選で選考する。)  
参加費 (一名当たり) 賛助会員@1,500 円、一般@2,000 円  
結果 鈴鹿農協のご協力により、地元産の食材を主体に調達し、料理のデコレーションの仕方及び食材のカッティング方法など英会話を交えての交流に対して、参加者から好評を得た。

国際理解セミナー

・ テーマ「カンボジアと近隣諸国」

講師 杉谷 哲也 (日本ユニセフ協会三重友の会事務局長)  
開催日時 平成 20 年 3 月 1 日 (土) 午後 1 時から 3 時 30 分  
会場 鈴鹿国際大学 C 棟 102 号室  
参加者 参加者 42 名・スタッフ 6 名 計 48 名  
結果 鈴鹿国際大学との共催で、杉谷先生を講師にお迎えし開催した。杉谷先生は、アセアン (特にカンボジア、タイ、ミャンマー等) の途上国の子供達への支援活動を永く取組まれ、先生を支援する企業、学生のボランティアの方の参加も得て、何故アセアンへの支援と活動が必要かについての講演と意見交換会を行った。

(3) 情報収集提供事業

協会 (SIFA) ニュースの発行

発行期間 年間 4 回 (平成 19 年 4・7・10 月と平成 20 年 1 月)

発行部数 450 部

配布先 協会役員 (理事・監事・評議員) 賛助会員及びボランティア会員

内容 協会の新年度事業計画・予算、事業活動のお知らせ、近況報告、賛助会員及びボランティア会員の活動報告を主体に機関紙として発行した。

ホームビジット、ホームステイの受入れ

ホームビジット

平成 20 年 2 月 10 日 (日) にポリビア人の方が、ボランティア会員の家族宅で日本の文化と食生活について体験された。

ホームステイ

・ 鈴鹿工業高等専門学校 1 名 平成 20 年 1 月 1 日～3 日

・ 鈴鹿工業高等専門学校 1 名 平成 20 年 1 月 4 日～6 日

・ 鈴鹿工業高等専門学校 1 名 平成 20 年 1 月 4 日～5 日

上記の通り、工専の留学生 3 名 (マレーシア) の方を、ボランティア 3 名にお世話いただいた。

#### 研修等への参加

平成19年度から全員新体制のスタッフであるので、(財)三重県国際交流財団(MIEF)が主催する各種国際交流セミナー研修へ参加した。また、多文化共生推進ボランティア国際団体セミナーには、ボランティア会員1名が参加した。

- ・ 外国人窓口担当者研修会 (初級編) 1名参加 平成19年7月1日(日)
- ・ 外国人窓口担当者研修会 (中級編) 3名参加 平成19年11月10日(土)
- ・ 災害時の外国人支援研修会(第1回) 1名参加 平成19年12月5日(水)
- ・ 災害時の外国人支援研修会(第2回) 1名参加 平成20年2月2日(土)
- ・ 多文化共生推進ボランティア国際団体セミナー  
2名参加 平成20年2月16日(土)
- ・ 外国人集住都市会議 岐阜県美濃加茂市「みのかも2007」  
2名参加 平成19年11月28日(水)
- ・ 外国人集住都市会議ブロック会議への参加
  - 第1回 平成19年7月4日(水) 1名参加
  - 第2回 平成19年8月3日(金) 1名参加
  - 第3回 平成19年9月11日(水) 1名参加
  - 第4回 平成19年10月2日(火) 1名参加
  - 第5回 平成20年2月28日(木) 1名参加

#### (4) 国際交流活動推進事業

国際交流活動推進事業助成金(下記の国際交流事業に助成した。)

事業名「鈴鹿市サイクリング交流会」

交付団体 鈴鹿市サイクリング協会

開催日時 平成19年6月10日(日)

場 所 鈴鹿川河川緑地公園～西之城戸公園東広場等

参加者 82名(外国人42名・日本人40名)

内 容 サイクリングを通じ在住外国人と日本人との交流会を行った。

事業名「五感で楽しむタンザニア」

交付団体 バルーンフェスティバル実行委員会

開催日時 平成19年8月12日(日)・9月15日(土)

場 所 ジェフリーすずか・鈴鹿サーキット

参加者 第1回35名・第2回250名 計285名

内 容 「鈴鹿バルーンフェスティバル2007」のタンザニア交流イベントとして、アフリカ音楽で市民との交流会を開催した。

事業名「子どもたちのための国際交流事業」

交付団体 IIFC・国際理解実践センター

開催日時 平成19年8月16日(木)～19日(日)

場 所 鈴鹿市文化会館・ジェフリーすずか等

参加者 27名(韓国の中高生15名・日本(市民)の中高生12名)

内 容 「日本と韓国の文化研究」両国の中高生がお互いの文化交流を伊勢型紙講師、テコンド講師、太鼓連等のボランティアの方々の支援をへ交流を深めた。

事業名「ネパールの子どもの思いを叶えよう」

交付団体 鈴鹿高校「クマリ(聖少女)プロジェクト」

開催日時 平成 19 年 12 月 21 日（金）～ 31 日（月）  
場 所 カトマンズ盆地内のナラヤニ県ダングバス村  
参加者 10 名（鈴鹿高校ボランティア部顧問等 7 名・高校生 3 名）  
内 容 2005 年から発展途上国の子供たちへ、教材の支援活動と施設の修  
復活動を行った。

事業名「日中友好交流 = 揚州市花園小学生を迎えて = 」

交付団体 日中共同建設桜<sup>さくらゆうぎりん</sup>友誼林保存協会  
開催日時 平成 19 年 8 月 1 日（日）～ 8 日（日）  
場 所 県立青少年研修センター、椿及び長太各小学校等  
参加者 436 名（中国 揚州市花園小学生 15 名・市内小学生 185 名・引率者等 236 名）  
内 容 日中共同建設桜<sup>さくらゆうぎりん</sup>友誼林保存協会が中国 揚州市花園小学生と保護者  
21 名を鈴鹿市へ招き日本文化の交流を深めた。

#### 国際支援，国際協力

- ・ 賛助会員及びボランティア会員の方々にご協力を得て，鈴鹿国際大学留学生に数多くの生活物資を提供した。

実施日時 平成 20 年 3 月 24 日（月）PM1 時 30 分～

提供者数 6 名の方よりタオル、食料品等の生活用品 187 点のご協力をえた。

#### (5) 共生推進事業

日本語会話講座開催事業

(前期)

- ・ 日本語講座（夜の部） 平成 19 年 4 月～ 9 月・15 回 受講者数 34 名

(後期)

- ・ 日本語講座（夜の部） 平成 19 年 9 月～12 月・15 回 受講者数 19 名

#### 地域共生推進事業

生活オリエンテーション（平成 19 年 6 月から～11 月まで）

毎月第 1 の月曜日に市役所の市民口ビーで在住外国人の方への生活ガイドを実施した。

行政ガイド（平成 19 年 12 月から～平成 20 年 3 月まで）

毎週月曜日の午前中に市役所の外国人登録窓口で、母国語でごみの出し方などの生活ガイダンスを行った。

外国語版広報紙「マンスリーすずか」を毎月発行

広報すずか の内容をもとに，ポルトガル語、スペイン語及び日本語（ルビ付）版を作成し，在住外国人の方が利用する店舗、飲食店へ配布すると共に、9 月から、市内の在住外国人児童が在籍する小中学校に配布した。

- ・ 1 ヶ月の発行部数 3,390 部

「配布内訳」 ・ポルトガル語版 2,080 部 ・スペイン語版 840 部

・日本語版 約 470 部

「日本語で外国人に日本語を教えてみませんか」日本語ボランティア養成講座

- ・ 第 1 回 平成 19 年 9 月 8 日（土）・文化会館研修室

講 師 船見 和秀先生（伊賀日本語の会 テクニカル アドバイザー）

参加者 52 名（鈴鹿日本語会 AIUEO・桜島日本語教室のボランティアの方々に体験発表を行っていただいた。）

内 容 日本語を教えるための基礎的なテクニックの習得

- ・第2回 平成20年3月20日(祝木)・神戸コミュニティセンター  
 講師 船見和秀先生(伊賀日本語の会 テクニカル アドバイザー)  
 参加者 24名(鈴鹿日本語会 AIUEO・桜島日本語教室のボランティアの方々に体験発表を行っていただいた。)  
 内容 日本語を教えるための教材作りの知識とテクニックの習得  
 その他 協会職員手作りの「日本語を教えるための動詞カード」を受講生に配布した。

(6) 他団体との共催及び参加事業

MIEF - IATSS フォーラム文化交流会へ参加する。

日時 平成19年 5月13日(日) 鈴鹿文化会館さつきプラザ  
 平成19年10月21日(日) 伊賀市 青山ホール

内容 イアッツ フォーラムのアセアン諸国研修生と県民が交流を通じて、文化や習慣などについて理解を深めた。

NPO 法人「愛伝舎」主催のシンポジウムに参加する。

日時 平成19年11月10日(土) 鈴鹿サーキットホール

内容 日本国内企業の労働力不足を求めるため、日本の政策として入管法が改正(1990年)され、多くの日系外国人が在住するようになった。在住外国人の方達を受入れる日本の労働環境、言葉及び生活習慣等の問題についてのシンポジウムであった。また、参加者全員との意見交換会も第2部で開催された。

参加した結果、当協会が多文化共生社会への取組の必要性を感じた。

(多文化共生問題に対して市内、市外から関心のある方達が沢山参加され、関心の深さを感じた。)

鈴鹿国際大学主催の「国際交流フェスタ in 鈴国大 2007」

日時 平成19年11月16日(金) 鈴鹿国際大学体育館

内容 第1部の「国際交流・国際理解活動発表会」に当協会の理事長賞を贈り、千里ヶ丘小学校が審査の結果受賞された。

第2部の「国際交流の夕べ」は、各国留学生、留学生を支える市民ボランティア、鈴鹿・津北国際交流協会職員及び国際大学教授が、留学生が調理した各国料理、飲み物等を会しながら交流を深め、また、民族舞踊も披露された。

フォーミュラ 日本 GP 出場のトニー・カナーン選手(ブラジル)応援団結成

日時 平成19年11月18日(日) 鈴鹿サーキットレーシングコース

内容 在住ブラジル人応援団を編成し、トニー・カナーン選手との交流会が行われた。協会は、鈴鹿サーキットの依頼に基づき、在住ブラジル人の方へチケットを販売協力(50枚・大人@2,500円・中学生@1,000円)と応援団へのサポートをおこない好評をえた。

市主催の「第21回健康展」に参加する。

日時 平成19年11月18日(日) 市保健センター

内容 市の依頼に基づき、親子で参加した在住外国人の方への通訳支援をおこなった。

三重県多文化共生実行委員会主催の

『みつめる かんじる ふれあう～あなたがつくる笑顔のつながり～』へ共催する。

日時 平成20年1月19～20日 ベルシティ中央コート・イオンホール

内容 ブラジル移民100周年記念事業として、在住外国人と日本人との共

生イベントが企画され、鈴鹿市と共に参加した。

協会は、在住外国人の方へ、母国語での支援と子供達へのゲーム等を企画しイベントを盛り上げた。

#### 第7回 鈴鹿川流域の環境展

日時 平成20年1月19～20日 鈴鹿ハンター中央コート

内容 在住外国人の方へ、鈴鹿川の環境問題を理解していただきたいとの提案をいただき、協会のパネル展示とピーアールを実施した。

## 2 庶務関係

### (1) 理事会等

会計決算監査 平成19年5月21日(月)

- ・平成18年度の会計決算監査

第1回 評議員会 平成19年5月23日(水)

- ・理事及び監事の選任について
- ・平成18年度事業報告について
- ・平成19年度の事業計画及び収支予算について

第1回 理事会 平成19年6月1日(金)

- ・理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選任について
- ・運営委員会委員の同意について
- ・評議員の選出について
- ・平成18年度事業報告及び決算報告について

第1回 運営委員会 平成19年6月1日(金)

- ・国際交流活動推進事業助成金交付申請審査について

第2回 評議員会 平成19年7月6日(金)

- ・理事の選任について

第3回 評議員会 平成20年2月15日(金)

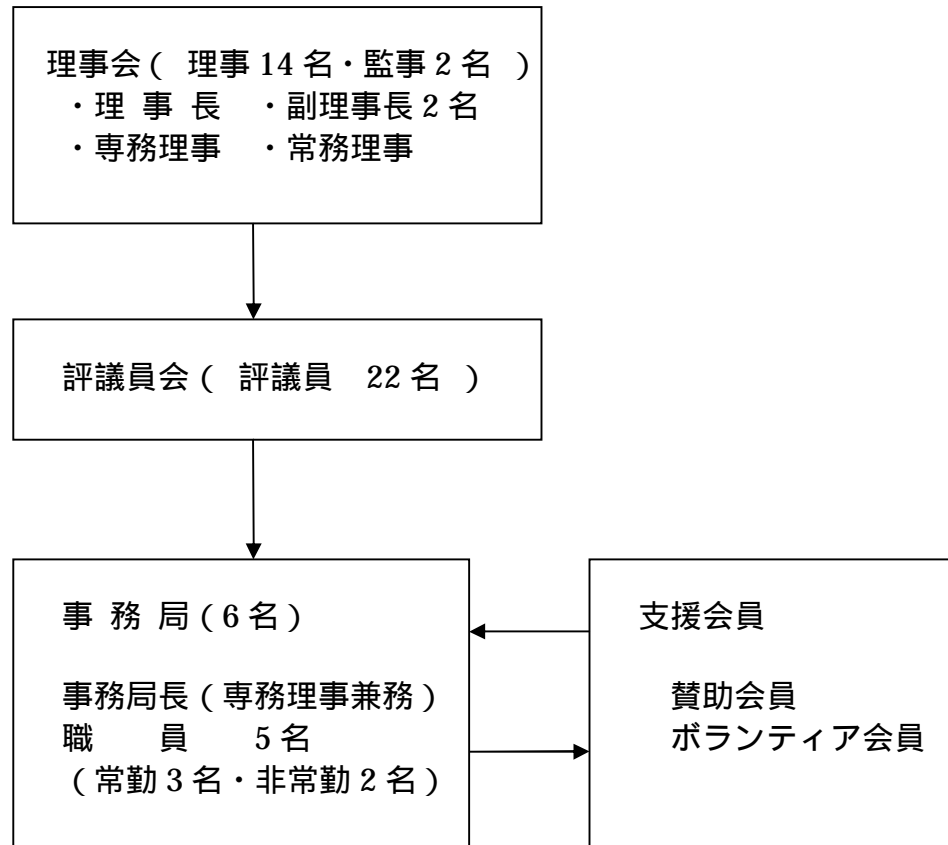
- ・理事の選任について
- ・その他 国際交流と多文化共生について  
3月理事会への議案(各種諸規程の改正)と要綱等について

第2回 理事会 平成20年3月28日(金)

- ・平成19年度補正収支予算案について
- ・平成20年度事業計画案について
- ・平成20年度収支予算案について
- ・処務規程、就業規程、役員等の費用弁償に関する規程、会計処理規程、賛助会員規程の全部を改正について
- ・役員の給与等に関する規程、職員の給与等に関する規程を制定する。
- ・各種要綱及び内規の全部改正と廃止について



( 2 ) 組 織



# 決算報告書

## 1 貸借対照表

平成20年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
小口現金	0		
普通預金	4,658,277		
未収金	67,339		
前払金	0		
立替金	0		
仮払金	0		
流動資産合計	4,725,616	-	-
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	150,000,000		
基本財産合計	150,000,000	-	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0		
減価償却引当資産	225,313		
事業推進積立資産	2,533,789		
特定資産合計	2,759,102	-	-
(3) その他の固定資産			
車両運搬具	1,081,500		
車両運搬具減価償却累計額	225,313		
什器備品	472,500		
什器備品減価償却累計額	155,761		
ソフトウェア	637,588		
長期前払費用	0		
その他の固定資産合計	1,810,514	-	-
固定資産合計	154,569,616	-	-
資産の部合計	159,295,232	-	-
負債の部			
1 流動負債			
未払金	701,344		
前受金	0		
預り金	145,970		
流動負債合計	847,314	-	-
2 固定負債			
退職給付引当金	0		
固定負債合計	0	-	-
負債の部合計	847,314	-	-
正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0		
(うち基本財産への充当額)	0		
(うち特定資産への充当額)	0		
2 一般正味財産	158,447,918		
(うち基本財産への充当額)	150,000,000		
(うち特定資産への充当額)	2,759,102		
正味財産合計	158,447,918	-	-
負債及び正味財産合計	159,295,232	-	-

## 2 正味財産増減計算書

平成19年 4月 1日から 平成20年 3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
[1] 経常収益			
(1) 基本財産運用益	1,950,000		
基本財産受取利息	1,950,000		
(2) 特定資産運用益	0		
特定資産受取利息	0		
(3) 受取会費	870,000		
賛助会員受取会費	870,000		
(4) 事業収益	5,180,200		
自主事業収益	3,260,200		
参加負担金収益	1,920,000		
(5) 受取補助金	17,832,000		
受取市補助金等	17,832,000		
(6) 受取寄付金	3,500		
受取寄付金	3,500		
(7) 事業受託収益	0		
受託金収益	0		
(8) 雑収益	71,676		
受取利息	29,196		
雑収益	42,480		
経常収益計	25,907,376	-	-
[2] 経常費用			
(1) 事業費	18,522,577		
交流事業費	6,165,044		
研修啓発事業費	4,946,125		
情報収集提供事業費	3,043,340		
国際交流活動推進事業費	425,000		
共生推進事業費	3,943,068		
(2) 管理費	7,580,981		
役員報酬	100,000		
給与費	5,156,803		
給料手当	4,588,082		
福利厚生費	568,721		
事務費	2,324,178		
会議費	87,878		
旅費交通費	12,560		
消耗品費	515,990		
印刷製本費	178,835		
燃料費	25,036		
修繕費	85,260		
通信運搬費	251,230		

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
使用料及び賃借料	365,815		
消耗什器備品費	0		
負担金	112,000		
保険料	153,510		
租税公課	11,600		
諸謝金	0		
支払手数料	26,780		
退職給付	0		
減価償却費	335,084		
ソフトウェア減価償却費	162,600		
経常費用計	26,103,558	-	-
当期経常増減額	196,182	-	-
2 経常外増減の部			
[1] 経常外収益			
(1) 基本財産評価益	0		
基本財産評価益	0		
(2) 固定資産売却益	0		
車両運搬具売却益	0		
什器備品売却益	0		
経常外収益計	0	-	-
[2] 経常外費用			
(1) 固定資産売却損	0		
車両運搬具売却損	0		
什器備品売却損	0		
(2) 固定資産除却損	65,352		
車両運搬具除却損	0		
什器備品除却損	65,352		
(3) 災害損失	0		
災害損失	0		
経常外費用計	65,352	-	-
当期経常外増減額	65,352	-	-
当期一般正味財産増減額	261,534	-	-
一般正味財産期首残高	158,709,452	-	-
一般正味財産期末残高	158,447,918	-	-
指定正味財産増減の部			
(1) 一般正味財産への振替額	0		
一般正味財産への振替額	0		
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
正味財産期末残高	158,447,918	-	-

### 3 財 産 目 録

平成 20 年 3 月 31 日 現在

( 単位 : 円 )

科 目	金	額	
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
小口現金	0		
普通預金			
百五銀行 鈴鹿支店	4,658,277		
未収金	67,339		
前払金	0		
立替金	0		
仮払金	0		
流動資産合計		4,725,616	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券			
地方債資金	150,000,000		
基本財産合計	150,000,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0		
減価償却引当資産	225,313		
事業推進積立資産	2,533,789		
特定資産合計	2,759,102		
(3) その他の固定資産			
車両運搬具	1,081,500		
車両運搬具減価償却累計額	225,313		
什器備品	472,500		
什器備品減価償却累計額	155,761		
ソフトウェア	637,588		
長期前払費用	0		
その他の固定資産合計	1,810,514		
固定資産合計		154,569,616	
資産の部合計			159,295,232
負債の部			
1 流動負債			
未払金	701,344		
前受金	0		
預り金	145,970		
流動負債合計		847,314	
2 固定負債			
退職給付引当金	0		
固定負債合計		0	
負債の部合計			847,314
正味財産			158,447,918

## 4 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び什器備品・・・定額法によっている。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	150,000,000			150,000,000
地方債	150,000,000			150,000,000
小 計				
特定資産				
減価償却引当資産	1,103,975		878,662	225,313
事業推進積立資産	2,533,789			2,533,789
小 計	3,637,764		878,662	2,759,102
合 計	153,637,764		878,662	152,759,102

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
地方債	150,000,000		(150,000,000)	
小 計	150,000,000		(150,000,000)	
特定資産				
減価償却引当資産	225,313		(225,313)	
事業推進積立資産	2,533,789		(2,533,789)	
小 計	2,759,102		(2,759,102)	
合 計	152,759,102		(152,759,102)	

### 4 担保に供している資産

該当なし。

### 5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末算高
車両備品(公用車)	1,081,500	225,313	856,187
什器備品(パソコン)	472,500	155,761	316,739
合 計	1,554,000	381,074	1,172,926

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位円)

補助金等の 名 称	交 付 者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表 上の記載区分
国際交流事業 市補助金	鈴 鹿 市	0	17,832,000	17,832,000	0	
合 計		0	17,832,000	17,832,000	0	

## 5 収 支 計 算 書

平成19年 4月 1日から 平成20年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	1,950,000	1,950,000	0	
基本財産利息収入	1,950,000	1,950,000	0	
(2) 特定資産運用収入	0	0	0	
特定資産利息収入	0	0	0	
(3) 会費収入	870,000	870,000	0	
賛助会費収入	870,000	870,000	0	
(4) 事業収入	5,184,000	5,180,200	3,800	
自主事業収入	3,264,000	3,260,200	3,800	
参加負担金収入	1,920,000	1,920,000	0	
(5) 補助金収入	17,832,000	17,832,000	0	
市補助金等収入	17,832,000	17,832,000	0	
(6) 寄付金収入	3,000	3,500	500	
寄付金収入	3,000	3,500	500	
(7) 事業受託収入	0	0	0	
受託金収入	0	0	0	
(8) 雑収入	51,000	71,676	20,676	
受取利息収入	9,000	29,196	20,196	
雑収入	42,000	42,480	480	
事業活動収入計	25,890,000	25,907,376	17,376	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	18,852,000	18,522,577	329,423	
交流事業費支出	6,167,000	6,165,044	1,956	
研修啓発事業費支出	4,966,000	4,946,125	19,875	
情報収集提供事業費支出	3,216,000	3,043,340	172,660	
国際交流活動推進事業費支出	510,000	425,000	85,000	
共生推進事業費支出	3,993,000	3,943,068	49,932	
(2) 管理費支出	7,083,297	7,083,297	0	
役員報酬支出	100,000	100,000	0	
給与費支出	5,156,803	5,156,803	0	
給料手当支出	4,588,082	4,588,082	0	
福利厚生費支出	568,721	568,721	0	(注1)(注2)
事務費支出	1,826,494	1,826,494	0	
会議費支出	87,878	87,878	0	
旅費交通費支出	12,560	12,560	0	
消耗品費支出	515,990	515,990	0	
印刷製本費支出	178,835	178,835	0	
燃料費支出	25,036	25,036	0	(注1)
修繕費支出	85,260	85,260	0	
通信運搬費支出	251,230	251,230	0	(注1)
使用料及び賃借料支出	365,815	365,815	0	



(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
消耗什器備品費支出	0	0	0	
負担金支出	112,000	112,000	0	
保険料支出	153,510	153,510	0	
租税公課支出	11,600	11,600	0	(注1)
諸謝金支出	0	0	0	
支払手数料支出	26,780	26,780	0	(注1)
退職給付支出	0	0	0	
事業活動支出計	25,935,297	25,605,874	329,423	
事業活動収支差額	45,297	301,502	346,799	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
(1) 基本財産取崩収入	0	0	0	
(2) 特定資産取崩収入	1,103,000	1,103,975	975	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
減価償却引当資産取崩収入	1,103,000	1,103,975	975	
事業推進積立資産取崩収入	0	0	0	
(3) 固定資産売却収入	0	0	0	
車両運搬具売却収入	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	1,103,000	1,103,975	975	
2 投資活動支出				
(1) 基本財産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産取得支出	226,000	225,313	687	
退職給付引当資産取得支出	0	0	0	
減価償却引当資産取得支出	226,000	225,313	687	
事業推進積立資産取得支出	0	0	0	
(3) 固定資産取得支出	1,082,000	1,081,500	500	
車両運搬具購入支出	1,082,000	1,081,500	500	
什器備品購入支出	0	0	0	
投資活動支出計	1,308,000	1,306,813	1,187	
投資活動収支差額	205,000	202,838	2,162	
財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	100,000	0	87,703	
	12,297			(注2)
当期収支差額	338,000	98,664	436,664	
前期繰越収支差額	3,779,000	3,779,638	638	
次期繰越収支差額	3,441,000	3,878,302	437,302	

## 6 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、未収金、未払金及び預り金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	4,133,112	4,658,277
未 収 金	1,928	67,339
合 計	4,135,040	4,725,616
未 払 金	296,866	701,344
預 り 金	58,536	145,970
合 計	355,402	847,314
次期繰越収支差額	3,779,638	3,878,302

### 3. 科目間の流用及び予備費の使用について

#### (1) 科目間の流用(注1)

予算科目のうち管理費 - 給与手当支出より 918 円を、管理費 - 旅費交通費支出より 12,440 円を、管理費 - 消耗品費支出より 2,066 円、計 15,424 円を管理費 - 福利厚生費支出に、また、管理費 - 印刷製本費支出 36 円を、管理費 - 燃料費支出に、管理費 - 会議費支出 1,122 円を、管理費 - 消耗品費支出 1,108 円、計 2,230 円を管理費 - 通信運搬費支出に、管理費 - 消耗品費支出 836 円を、管理費 - 修繕費支出 740 円を、管理費 - 使用料及び賃借料支出 24 円、計 1,600 円を、管理費 - 租税公課支出に、管理費 - 印刷製本費支出 129 円を、管理費 - 使用料及び賃借料支出 161 円を、管理費 - 保険料支出 490 円、計 780 円を、管理費 - 支払手数料支出に流用した。

(単位円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費 - 福利厚生費支出	541,000	15,424	556,424
管理費 - 給与手当支出	4,589,000	918	4,588,082
管理費 - 旅費交通費支出	25,000	12,440	12,560
管理費 - 消耗品費支出	520,000	2,066	517,934
管理費 - 燃料費支出	25,000	36	25,036
管理費 - 印刷製本費支出	179,000	36	178,964
管理費 - 通信運搬費支出	249,000	2,230	251,230
管理費 - 会議費支出	89,000	1,122	87,878
管理費 - 消耗品費支出	517,934	1,108	516,826
管理費 - 租税公課支出	10,000	1,600	11,600
管理費 - 消耗品費支出	516,826	836	515,990
管理費 - 修繕費支出	86,000	740	85,260
管理費 - 使用料及び賃借料支出	366,000	24	365,976
管理費 - 支払手数料支出	26,000	780	26,780
管理費 - 印刷製本費支出	178,964	129	178,835
管理費 - 使用料及び賃借料支出	365,976	161	365,815
管理費 - 保険料支出	154,000	490	153,510

(2) 予備費の使用(注2)

予備費 12,297 円は管理費 - 福利厚生費へ充用し、当該科目の予算額に含めて表示している。